

星野富弘 花の詩画展

やさしく そして つよく 生きることの想いを自然の風物に描く

いらつたかまみちが
 風吹かされて
 旅する姿がうれしくならぬ
 人間はどいつも
 必要なもの
 ただひとつ
 私も
 余分なもの
 捨てれば
 穴がとれる
 空は広い



2001年 5月26日(土)～6月24日(日)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は5時30分まで)
 休館日 5/28(月)、6/5(火)、6/11(月)、6/18(月)

喜多方市美術館

〒966-0094 喜多方市字押切2-2 0241-23-0404
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/>
 e-mail: bijyutsu@city.kitakata.fukushima.jp

- ◆主催 喜多方市美術館
きたかた音を楽しむ会
福島県身体障害者福祉協会
喜多方支部

- ◆後援 福島民報社
福島民友新聞社
朝日新聞福島支局
読売新聞福島支局
毎日新聞福島支局
NHK福島放送局
福島テレビ
福島中央テレビ
福島放送
テレビユー福島
ラジオ福島
ふくしまFM

- ◆観覧料 一般500円(400円)
大・高校生300円(250円)
小・中学生200円(150円)
()内は20人以上の団体料金
※身体障害者手帳お持ちの方
と介添えの方1名無料

木の実は好き
木の実は
食べられてほんの少し残されて
なんにも残さぬのもいい

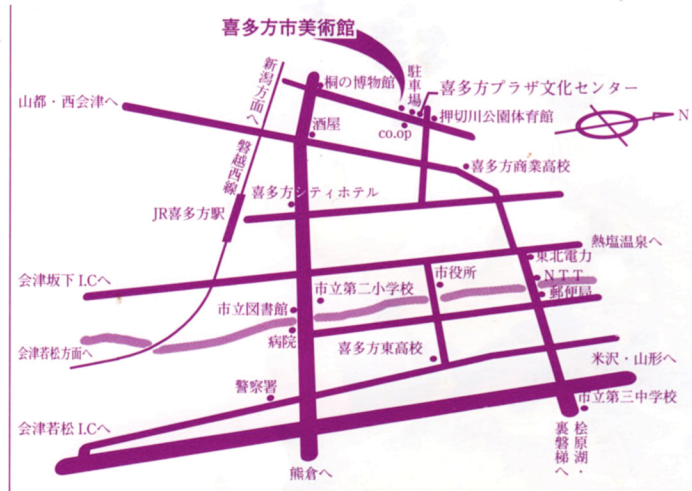


星野富弘の 花の詩画展

喜多方市美術館へのご案内

- JRご利用の場合
磐越西線喜多方駅下車徒歩15分、タクシー5分
- 自動車ご利用の場合
磐越自動車道「会津若松・喜多方インター」
から国道121号で喜多方・米沢方面に走行し、
喜多方市まで約30分。喜多方市内では「喜多
方プラザ」の道路標識にしたがって走行して
ください。
喜多方市美術館は喜多方プラザの南隣りにあ
ります。

あけび



☆ギャラリーコンサート ^{ザ・蔵} — 勇氣とやさしさのカルテット —

- ◇主催 喜多方市美術館・喜多方プラザ文化センター(喜多方プラザ自主文化事業推進協議会)・きたかた音を楽しむ会
- ◇日時 6月4日(月)午後7時開演(6時30分開場)
- ◇場所 「蔵の里」内・イベント蔵(喜多方プラザ南隣り)
- ◇入場料 入場料金には星野富弘詩画展の観覧料が含まれています。
前売券 2,000円(学生・児童生徒は半額)
当日券 2,500円(学生・児童生徒は1,300円)
喜多方市美術館、喜多方プラザ窓口でお求めください。
※幼児は無料ですが、他のお客様の迷惑にならないように、
保護者のかたはご注意ください。
- 演奏 物集女純子(バイオリン)、長崎真音(バイオリン)、
竹鼻江美子(ビオラ)、毛利恭三(コントラバス)
- 曲目 モーツァルト：セレナーデ「アイネクライネナハトムジーク」
クライスラー：愛の喜び、美しきロスマリン

誰もが持っている「美しさややさしさに感動する心」を、私たちは日頃の忙しさの中で忘れていたような気がします。不慮の事故で体の自由を失った作家にとって、絵を描くことや詩をつくることは生きることを実感する喜びであり、描きだされる作品はその証です。身近に咲く草花をとおして、美しさ、やさしさ、力よさを、この展覧会は改めて思いおこさせてくれます。たんぽぽ、あじさい、べんべん草など、私たちが見なれている草花が、まるで生きているようにみずみずしく描かれ、そこに添えられた心あたたまる詩は、私たちに生きる勇氣を与えてくれます。

この展覧会では、作家が一筆づつ思いをこめて描いた水彩画76点を紹介しています。雪国会津にも、かがやくような新緑の季節がやってきました。星野富弘の詩画の世界をとおして、やさしさ、生きる勇氣、そして身近な幸せを改めて感じていただけたら幸いです。

星野富弘氏プロフィール

1946年群馬県に生まれました。群馬大学を卒業後中学校の体育教師になりますが、事故で頸髄を損傷して手足の自由を失います。入院中の病院で、生かされていることへの感謝と喜びを絵や詩に表して描き始め、その作品展が全国各地で開催されて、大きな感動を呼ぶようになりました。1991年、故郷の群馬県勢多郡東村に「富弘美術館」が開館。1994年にニューヨークで、1997年と2000年にはハワイで詩画展が開催され、作品の持つあたたかさ、やさしさが好評を博し、多くの人に生きる勇氣を与えました。現在も詩画やエッセイなどの創作活動を続けています。